

令和4年度千葉大学工学部入学者選抜問題

総合型選抜

(デザインコース)

課題 I (午前)

注意事項

1. この冊子は、監督者から解答を始めるよう合図があるまで、開いてはいけません。
2. 机の上には、問題冊子、解答用紙、画用紙、時計、受験票、学生募集要項で指定された携行品のうち、鉛筆(Hから4B程度)、鉛筆削り、カッターナイフ、消しゴム、三角定規(30cm程度)1組、目盛付直定規(30cm程度)、コンパス以外のものは置いてはいけません。はさみは使わないのでカバンの中に入れてください。
3. 解答用紙や画用紙に汚れがある場合は、手をあげて申し出てください。解答に支障があると監督者が判断したときは、新しいものと交換します。
4. 問題冊子に印刷または製本の不具合があったら、手をあげて申し出てください。
5. 監督者から指示があったら、解答用紙の受験番号欄に、受験番号を記入してください。画用紙は所定の受験番号欄に受験番号を記入し、横位置に用いて受験番号欄のない面に解答してください。
6. 問題の解釈についての質問は一切受け付けません。
7. 解答用紙ならびに画用紙は、解答の有無にかかわらず持ち帰ってはいけません。
8. この冊子は持ち帰ってください。
9. その他、監督者の指示に従ってください。

問題 I

図 1 は、円柱を平面で切断して得られた立体の三面図である。

図 2 は、円すいを平面で切断して得られる 3 つの物体で構成された立体の三面図である。
以下の問いに答えなさい。ただし解答に際し、問題用紙や解答用紙を切ったり折ったりしてはいけない。

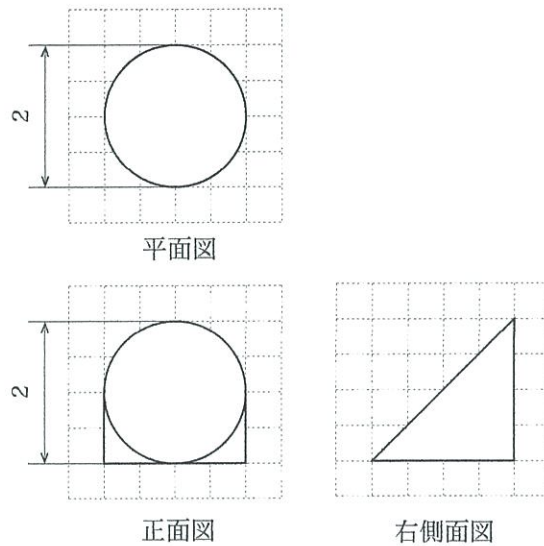


図 1

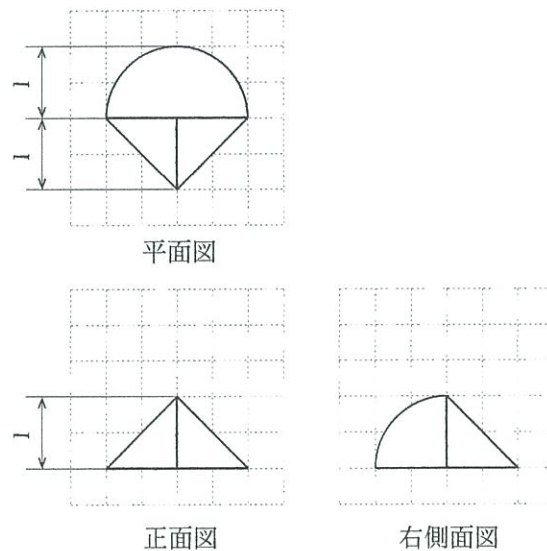


図 2

問1

図1が示す立体の展開図を図3のa~lの中からすべて選び解答欄1に記入しなさい。

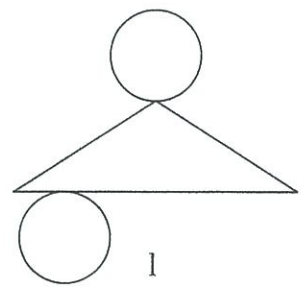
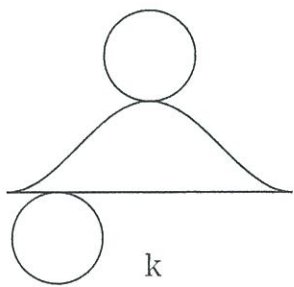
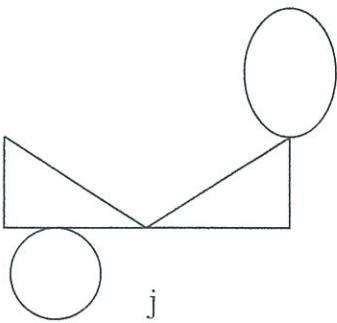
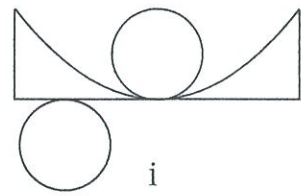
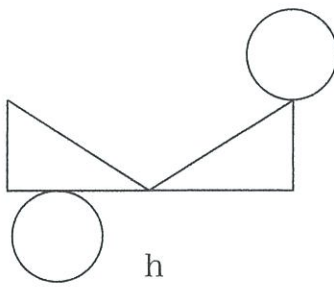
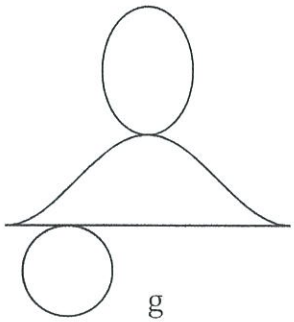
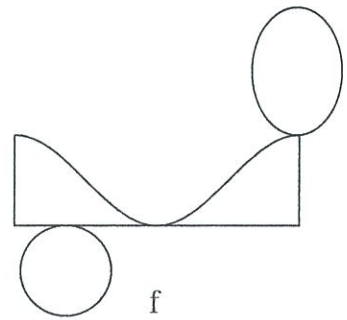
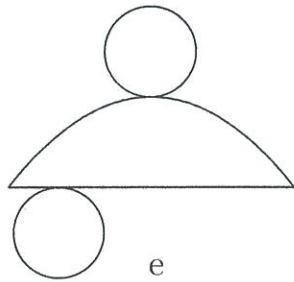
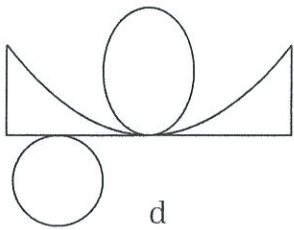
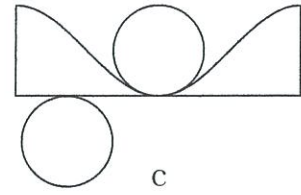
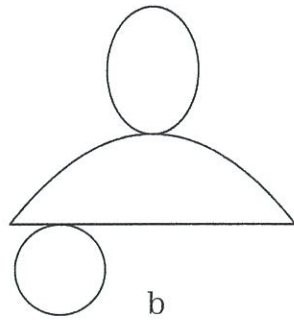
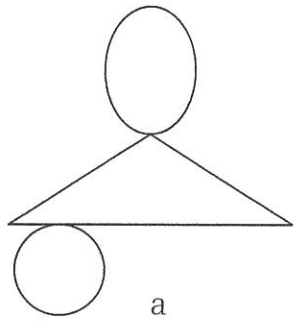


図3

問2

図2が示す立体の展開図を，図4のa～lの中からすべて選び解答欄2に記入しなさい。
ただし，展開図は外側に現れている面のみを示している。

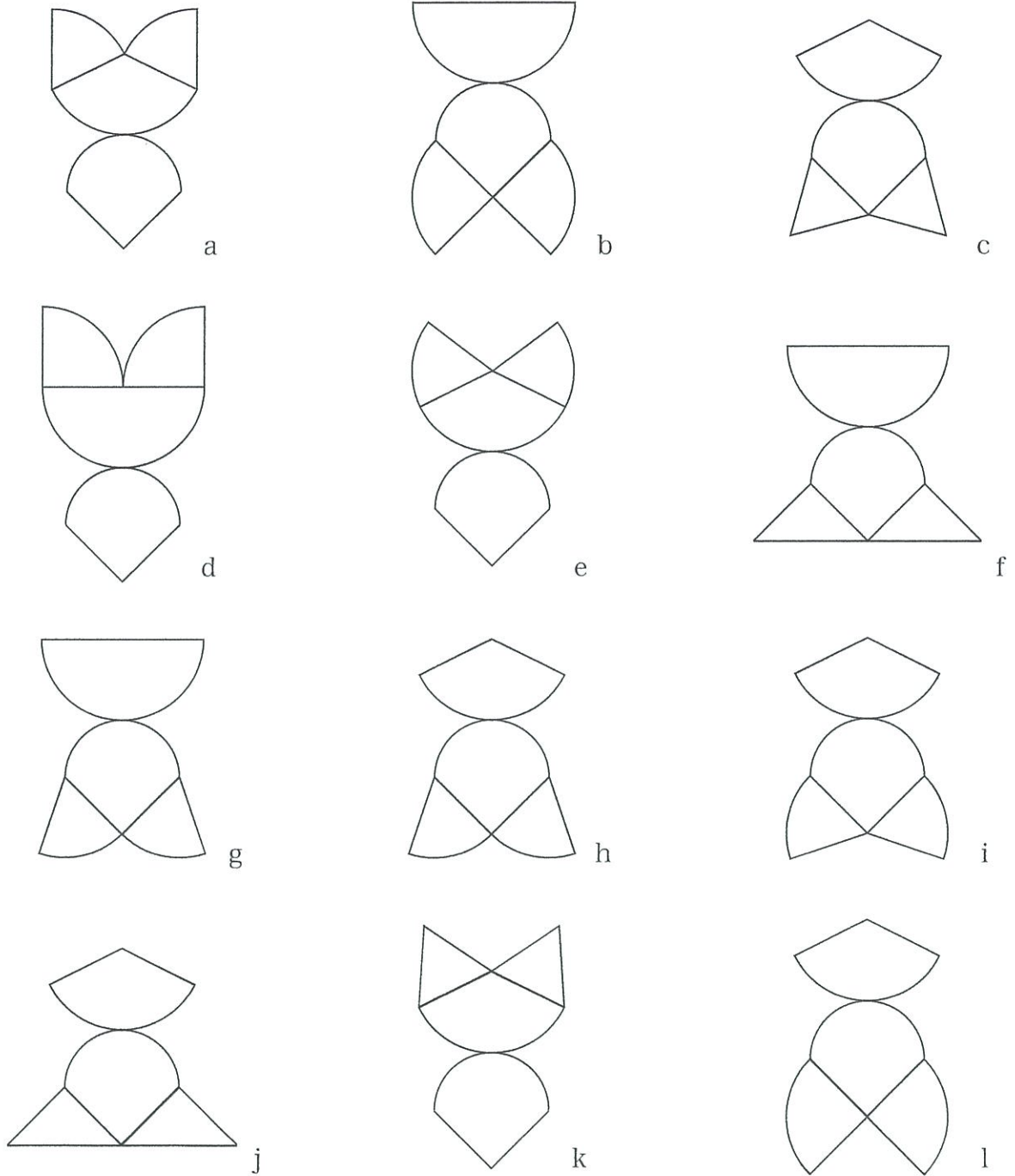


図4

問3

図5は、図1が示す立体の見取り図である。図5を参考にして、図2が示す立体の見取り図を解答欄3に描きなさい。

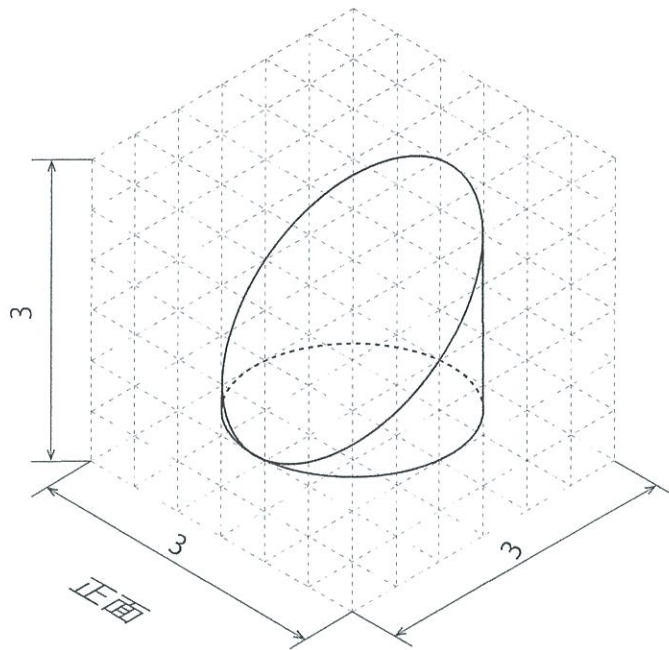


図5

問題Ⅱ

朝、目覚めたら背が縮んでいた。測ってみると前の日の半分ほどになっている。おかしいこともあるものだなと思いながらも特に困らないのでそのままにしていると、次の日、またその半分ほどに縮んでいた。食費が浮くからまあいいかと思って何もしていないでいたら、次の日にはまたその半分ほどになっている。やっとの思いでベッドからおりて、床で寝ることにした。さすがにこれ以上小さくなるといろいろと不便が生じて困るなと思いながらも成り行きにまかせていると、次の日も、またその次の日も半分ずつ縮んでいく。部屋の様子を見まわすと、見慣れたはずの部屋が一変して見える。

翌朝、激しい揺れに見舞われてとび起きると、なにか巨大な物体が視界を遮っていた。よく見ると、それは受験のために買い揃えて削っておいた鉛筆が机の上から落ちて散乱しているのだった。背丈はすでに2～3 cmほどだ。鉛筆の下敷きにならなくてよかったと思いながら、立ち上がってその向こうを見やると、すぐ近くにガラスのコップが横倒しになっていて、机の前にあったはずの椅子が部屋の中央付近まで移動してそのすぐ後ろにそびえ立っている。さらに遠くの壁際にはほぼ空っぽになった本棚がうっすらと見え、窓から差し込む光がそれらを美しく照らしている。

しばし見とれた後「やれやれ、これは片付けが大変だな……」と思ったところで夢から覚めた。あまりにリアルな夢だったので、見た情景はまだありありと思い浮かべることができる。私は、記憶が消えないうちにそれらをスケッチした。

上の文章を読んで、その時に私が見た情景を想像して描きなさい。

【条件】

1. 陰影をつけて写實的に表現する
2. 情景を見ている私は描かない
3. 画用紙の受験番号欄のない面に描画する

【描画用具】

学生募集要項で指定された携行品

令和4年度千葉大学工学部入学者選抜問題

総合型選抜

(デザインコース)

課題 II (午後)

注意事項

1. この冊子は、監督者から解答を始めるよう合図があるまで、開いてはいけません。
2. 机の上には、問題冊子、配布された物品、学生募集要項で指定された携行品、時計、受験票以外のものは置いてはいけません。
3. 配布された物品に不具合がある場合は、手をあげて申し出てください。解答に支障があると監督者が判断したときは、新しいものと交換します。
4. 問題冊子に印刷または製本の不具合があったら、手をあげて申し出てください。
5. 問題の解釈についての質問は一切受け付けません。
6. 配布された物品は、解答の有無にかかわらず持ち帰ってはいけません。
7. この冊子は持ち帰ってください。
8. その他、監督者の指示に従ってください。

問題 1

脱プラスチックの動きが加速する中、製紙業界が紙の持つ可能性をアピールするためにデザインコンペを開催する。テーマは「フォーマルな装い」で、フォーマルなパーティーにふさわしい服や靴、ハンドバッグなどを紙で作ることが求められている。

あなたは、このコンペに参加して靴を提案することにした。制作する靴は、男性用でも女性用でも、また性別を特定しなくても良いが、プレゼンテーションでは自分で履いて歩くことが求められている。

以下の条件を満たす靴を作りなさい。

【条件】

1. 靴のサイズは自分の足のサイズに合わせる
2. 靴は左右いずれか片方を制作する
3. 靴は実際に履いて歩くことができる
4. 制作にあたっては席を立ってもよい
5. 試し履きをするときは自席の周りを歩いてもよい
6. 板紙はカッターマットとして使用する

【材料】

ケント紙3枚, ダンボール3枚

*足りない場合は追加を申し出ること

【加工用具】

配布された物品（大型カッターナイフ、木工用ボンド、両面テープ、板紙）、および学生募集要項で指定された携行品